

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○子ども・教職員・保護者・地域が一体となり、「豊かな人間関係」を育み、信頼と愛着がもてる学校づくりを目指します。	
①豊かな心、健やかな体、確かな学力の育成に努めます。	
②家庭・地域と連携し、子どもたちが安心して学べる学校づくりに努めます。	
③教職員相互が啓発・連携、協力しながら、教師としての資質・指導力の向上に努めます。	
④教職員一人一人が力を発揮すると共に、チームとして学校力向上に努めます。	
⑤学校支援・地域連携本部「なみよんFANくらぶ」との密な連携を図ります。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

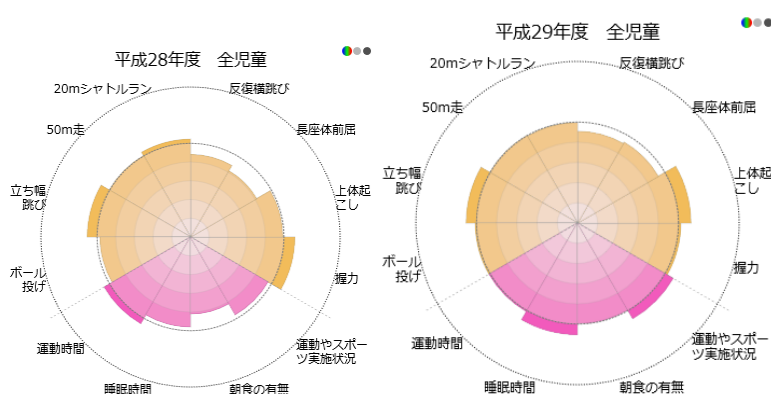
重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	○日々、元気に考え・動くことができるような児童を育成するため、年間を通じた体力作りや遊びの推進、体育学習の充実や健康教育の推進に努めていきます。	○新体カテストの結果を体育学習へ活用し、体力の向上を図る。 ○朝の「キラキラタイム」(短縄跳び・持久走中心)で基礎体力を養う。 ○さわやかスポーツタイム(金沢区スポーツ協会指導)や特別クラブ(スーパータッチ)などを通して、運動に親しむ資質や能力を育てる。
担当	学習研究部 (体育部)	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・休み時間には、校庭で遊ぶ児童が多い。サッカー、ドッジビー、鬼ごっこで遊ぶことが多い。
- ・野球、サッカー、バスケットボール、水泳など地域のクラブに参加している児童も多いが、平日、休日問わず運動をしていない児童もいる。
- ・地域で外遊びできる場所として、大小様々な公園が多くある。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体カテストの結果から、前年度に比べ、ほとんどの項目が、上昇傾向にあることが分かった。しかし、反復横跳びと長座体前屈については、横浜市の平均を大きく下回っている。

今年度は、俊敏性や柔軟性を高める動きに重点をおいて行っていくことが大切とである。

3 体育・健康に関する具体的取組

《体育科での取り組み》

- ・自分に合っためあてに向かって運動に取り組み、有用感や満足感、充足感を味わわせる。
- ・様々な運動により、児童が体を動かす楽しさや、協力し合って運動に取り組む良さを感じられるようにする。

《他教科での取り組み》

- ・家庭科では、食事の大切さや、快適な生活の仕方を指導する。
- ・生活科、理科等で生命の尊さについても指導する。

《他領域での取り組み》

- 運動会
- ふれあい遠足
- 新体力テスト
- 体育大会
- 球技大会
- 宿泊体験学習
- 健康診断
- 歯科巡回指導

《その他の取り組み》

- ・特設クラブ（スーパータッチボール）
- ・ドラえもんタイム（歯みがき活動）
- ・「あわあわ手洗いの歌」での手洗い運動
- ・運動委員会による「長縄大会」
- ・保健委員会を中心とした「いきいき会議」
- ・給食委員会による給食週間の取り組み
- ・さわやかスポーツ
- ・地域の祭への参加
- ・夏季水泳教室

平成30年度 並木第四小学校 体力向上1校1実践運動

- <名称> 保健・体育的活動の充実
- <ねらい> 運動することの楽しさを味わい、意欲的に運動することで、体力の向上を図る。
- <内容> キラキラタイムでは、全校児童で3分間の短縄、長縄集会やマラソンを行う。長縄集会については、運動委員会が企画・運営することで、内容と取組の充実を図る。さわやかスポーツでは、低・中・高学年ブロックに分かれ、中休みに体育館で新しい遊びや、道具を使った遊びを行う。
- スポーツテストの結果を考慮しながら、日々の体育学習の見直し（教育課程・指導方法等）・実践・評価・改善に努め、体力向上をめざします。
 - 保健学習においては健康を維持する大切さ知り、それを生かしながら体育的行事・運動教室（年間を通して）・遊び・キラキラタイム等で生涯体育をめざせるような児童を育てます。
- 指標
- ・キラキラタイムたんなわカードでの達成や振り返り
 - ・体力テストの結果から分析し、重点項目の評価
 - ・生活実態調査の結果
 - ・行事等での振り返り調査